

令和	7	年度	年間授業計画	教科	国語	科目	古典								
教科：	国語		科目：	古典		単位数：	3	単位							
対象学年組：		第 2	学年												
教科担当者：		A組	小曾根 豪	B組	河合 智彦	C組	石井 幸恵	D組	丸山 裕穂	E組	丸山 裕穂	F組	小曾根 豪	G組	河合 智彦
使用教科書：		高等学校 精選 古典探究（第一学習社）													

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	古典	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 ・ 聞	書 ・ 読					
1 学 期	単 元 1 説話 古今著聞集	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	動詞・助動詞の意味や用法を理解する。	説話			動詞・助動詞の意味や用法を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	説話のおもしろさに親しみ、平安期の人々の生き方や考え方を学ぶ。	教科書			読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	動詞・助動詞の意味や用法を理解し、説話のおもしろさに親しもうとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単 元 2 故事・寓話 歴代名画記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	漢文を読むために必要な訓読のきまりについて、理解する。	故事・寓話			文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えられている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	文章の構成や展開のしかたを的確に捉え、内容への理解を深める。	教科書			読むことにおいて、異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらを比較して論じたり、批評したりしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について、理解を深める中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説								
	単 元 3 物語 伊勢物語	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	物語			文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えられている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	物語における出来事の展開や作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わう。	教科書			読むことにおいて、我が国の伝統や文化をふまえて書かれた物語を読み、古典について論述したり発表することをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わう中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単 元 4 日記 更級日記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解する。	日記			平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	日記における作者の心情を捉え、表現の特色を読み味わう。	教科書			書くことにおいて、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料の良さを味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わう中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説								

令和	7	年度	年間授業計画	教科	国語	科目	古典								
教科:	国語		科目:	古典		単位数:	3	単位							
対象学年組:		第 2	学年												
教科担当者:		A組	小曾根 豪	B組	河合 智彦	C組	石井 幸恵	D組	丸山 裕穂	E組	丸山 裕穂	F組	小曾根 豪	G組	河合 智彦
使用教科書:		高等学校 精選 古典探究（第一学習社）													

教科	国語	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	古典	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書・読					
2 学 期	単元5 詩 竹里館・春夜	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	絶句や律詩に用いられている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。	漢詩			絶句や律詩に用いられている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	描かれている心情や境遇などを考えながら、漢詩を読み味わう。	教科書			読むことにおいて、異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらを比較して論じたり、批評したりしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【学びに向かう力、人間性等】				
	漢詩に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単元6 物語 源氏物語	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	平安時代の語彙、源氏物語の内容と影響を理解する。	物語			平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	物語における出来事の展開や作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わう。	教科書			読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【学びに向かう力、人間性等】				
	進んで古典の文章について、解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げる中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説								
	単元7 物語 大鏡	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	敬語における敬意の方向を確認しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	物語			敬語における敬意の方向を確認しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	歴史物語を読み、史実とは異なる豊かな物語性や生き生きとした人物像を読み取る。	教科書			読むことにおいて、作品の成立した時代や背景の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【学びに向かう力、人間性等】				
	修辞などの表現の特色について理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉え、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単元8 史話・史伝 史記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	登場人物の言動から、心情・考え方や生き方を的確に読み取り、自分の考えを広げる。	史話・史伝			登場人物の言動から、心情・考え方や生き方を的確に読み取り、自分の考えを広げている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	『史記』の内容の解釈を踏まえて、登場人物の心情と場面を想像して群談する。	教科書			読むことにおいて、作品の成立した時代や背景の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【学びに向かう力、人間性等】				
	史実とは異なる豊かな物語性や生き生きとした人物像を読み取る中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説								

令和

7

年度

年間授業計画

教科

国語

科目

古典

教科

国語

科目

古典

単位数

3

単位

対象学年組

第

2

学年

教科担当者	A組	小曾根 豪	B組	河合 智彦	C組	石井 幸恵	D組	丸山 裕穂	E組	丸山 裕穂	F組	小曾根 豪	G組	河合 智彦
使用教科書	高等学校 精選 古典探究（第一学習社）													

教科	国語	の目標
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	古典	の目標
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 ・ 聞	書 ・ 読					
3 学 期	単元 9 物語 大鏡	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	敬語における敬意の方向を確認しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	物語			敬語における敬意の方向を確認しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	歴史物語を読み、史実とは異なる豊かな物語性や生き生きとした人物像を読み取る。	教科書			読むことにおいて、作品の成立した時代や背景の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることをしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	柳辞などの表現の特色について理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉え、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典文学に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単元 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	単元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説								